

## 卒業に必要な単位数

英語英米文学科では、以下の表の「科目区分」ごとの科目の単位を修得し、それぞれの「単位数」を満たすことが、卒業の条件です。

科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に掲載されています。

2024年度以降入学者						
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考		卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	C L Aコア	キリスト教 科目	2	「キリスト教概論」[2]	なし	
		上記以外	4	「キリスト教学」[2]		
	語学 (履修コースによる)		①22	①英語インテンシブ・コース選択者	32	
		②20	②2か国語履修コース選択者			
学科専門	選択必修	I	2	合計 44	FR&R(入門ゼミ) [1]、「基礎ゼミ」[1]	
		II-A	12		〈各研究入門〉	なし
		II-B	6		〈高度な英語科目、「英米文化専門講読」〉	なし
		III	20		〈高度な英語科目、「英米文化専門講読」〉	なし
	IV	4	「専門ゼミ A, B」[1, 1] 「卒論ゼミ A, B」[1, 1]			
選択				「海外短期研修」		
卒業論文			6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学の履修 コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8	
	他学科専門科目など	①44 ②46		他学科の開放科目のほか、共通科目、英語英米文学科 専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得した もの		
合計			124			

2019～2023年度入学者						
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考		卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	C L Aコア	キリスト教 科目	2	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 」[2]	なし	
		上記以外	4	「キリスト教学 <sup>※2</sup> 、一神教概論 <sup>※3</sup> 、 フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> 」[2]		
	語学 (履修コースによる)		①22	①英語インテンシブ・コース選択者	32	
		②20	②2か国語履修コース選択者			
学科専門	選択必修	I	2	合計 44	FR&R(入門ゼミ) [1]、「基礎ゼミ」[1]	
		II-A	12		〈各研究入門〉	なし
		II-B	6		〈高度な英語科目、「英米文化専門講読」〉	なし
		III	20		〈高度な英語科目、「英米文化専門講読」〉	なし
	IV	4	「専門ゼミ A, B」[1, 1] 「卒論ゼミ A, B」[1, 1]			
選択				「海外短期研修」		
卒業論文			6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学の履修 コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8	
	他学科専門科目など	①44 ②46		他学科の開放科目のほか、共通科目、英語英米文学科 専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得した もの		
合計			124			

※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」

※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」

※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」

※4 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅳ」

#### 〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です（p.19「履修登録できる単位数の上限（CAP制）」参照）。
- ・外国人留学生は、この表にかかわらず、「日本語科目」及び「日本事情に関する科目」について必修科目が定められています（p.72「外国人留学生の履修」参照）。
- ・編入学者の「卒業に必要な単位数」はpp.110～111を参照してください。

2017・2018年度入学者

2021年度学生要覧を参照してください。

## カリキュラムの説明

英語英米文学科では、イギリスとアメリカなど英語圏について、また英語という言葉そのものについて、あらゆることから学ぶことができます。

- ・専門科目各部門（カリキュラム・マップを参照してください）

英語英米文学科の専門科目は、以下の六部門に分かれています。

- (1) みずから調査・研究をする力を養う科目（少人数クラスによる演習）
- (2) イギリス・アメリカなど英語圏の政治、歴史、思想、宗教に関する科目
- (3) イギリス・アメリカなど英語圏の文学、視覚芸術、映画に関する科目
- (4) 英語の歴史や構造を扱う英語学系の科目
- (5) 高度な英語運用能力および深い思考を養う科目
- (6) イギリス・アメリカ・カナダでおこなわれる現地実習科目

(1)の演習科目は、各学年に設置されています。1年前期の演習科目は「R&R（入門ゼミ）」（必修）です。（「R&R」とは“Research & Report”の略です。）この科目で、大学における学習・調査・研究の基礎——学術資料の探しかた、発表資料（レジュメ）の作りかた、小論文（いわゆる「レポート」）や論文の書きかた、など——を学びます。また、1-2年次には、この「R&R」担当教員が「アカデミック・アドバイザー」（AA）として、みなさんの相談を受け、必要なアドバイスをします。

1年後期の演習科目は「英米文化基礎ゼミ」（必修）、2年前期の演習科目は「英米文化発展ゼミ」です。それぞれ、関心のあるクラスをみずから選び、各専門分野の調査・研究の基礎を学びます。

3年次の演習科目は「英米文化専門ゼミ」（必修）です。1-2年次の演習科目よりもさらに少人数のクラス（ゼミ）に分かれ、担当教員の指導を受けながら、各自特に関心のある分野・テーマについての調査・研究をおこないます。4年次の演習科目は「英米文化卒論ゼミ」（必修）です。3年次のゼミから継続して研究してきた成果を「卒業論文」（必修）にまとめる作業をします。

(2)～(4)各領域については、特に1-2年次にさまざまな科目を履修して関心を広げるとともに、少しずつ自分の専門とする分野・テーマを選んでいってください。(5)については、「英語インテンシブ」あるいは「2か国語履修」という共通語学コースの各科目に加えて履修することにより、さらに高度な英語運用能力を修得してください。

(6)は、休暇期間中に実施される科目で、イギリス・アメリカの社会・文化に直接ふれることを目的とする「Field Study」と、イギリス・アメリカ・カナダで短期語学研修をおこなう「Summer Abroad」、「Spring Abroad」があります。本学の「認定・交換留学」制度による留学や、英語英米文学科対象留学プログラム「セメスター・アブロード」への準備などとして、ぜひ履修してください。

## 卒業に必要な単位数

日本語日本文学科では、以下の表の「科目区分」ごとの科目の単位を修得し、それぞれの「単位数」を満たすことが、卒業の条件です。

科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に掲載されています。

2024年度以降入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考		卒業要件算入の 上限単位数
全学共通	C L A コア	キリスト教科目	2	「キリスト教概論」[2]	なし
		上記以外	4	「キリスト教概論」[2]	
	語学 (履修コースによる)		①10	①スタンダード・コース選択者	32
			②16	②2か国語履修コース選択者	
		③22	③インテンシブ・コース選択者		
学科専門	選択必修	I	2	合計 37 「R&R(入門ゼミ)」[1]、「基礎ゼミ」[1] (各分野概論) (基礎科目群、「基礎論文演習」) 「プレ専門ゼミ1~9」[各2] 「専門ゼミ A, B」[1, 1]「卒論ゼミ A, B」[1, 1]	なし
		II-A	12		
		II-B	3		
		II-C	2		
		III	14		
	IV	4			
卒業論文		6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ/Ⅱ-A	語学の履修コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」 他学科の開放科目のほか、共通科目、日本語日本文学科 専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得した もの	8
	他学科専門科目など	①63 ②57 ③51			
合 計		124			

2019~2023年度入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考		卒業要件算入の 上限単位数
全学共通	C L A コア	キリスト教科目	2	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 」[2]	なし
		上記以外	4	「キリスト教概論 <sup>※2</sup> 」、「一神教概論 <sup>※3</sup> 」、 フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> 」[2]	
	語学 (履修コースによる)		①10	①スタンダード・コース選択者	32
			②16	②2か国語履修コース選択者	
		③22	③インテンシブ・コース選択者		
学科専門	選択必修	I	2	合計 37 「R&R(入門ゼミ)」[1]、「基礎ゼミ」[1] (各分野概論) (基礎科目群、「基礎論文演習」) 「プレ専門ゼミ1~9」[各2] 「専門ゼミ A, B」[1, 1]「卒論ゼミ A, B」[1, 1]	なし
		II-A	12		
		II-B	3		
		II-C	2		
		III	14		
	IV	4			
卒業論文		6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ/Ⅱ-A	語学の履修コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」 他学科の開放科目のほか、共通科目、日本語日本文学科 専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得した もの	8
	他学科専門科目など	①63 ②57 ③51			
合 計		124			

- ※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」
- ※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」
- ※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」
- ※4 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅳ」

#### 〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です（p.19「履修登録できる単位数の上限（CAP制）」参照）。
- ・外国人留学生は、この表にかかわらず、「日本語科目」及び「日本事情に関する科目」について必修科目が定められています（p.72「外国人留学生の履修」参照）。
- ・編入学者の「卒業に必要な単位数」は pp.110～111を参照してください。

#### 2017年度以前入学者

2019年度学生要覧を参照してください。

#### 2018年度入学者

2021年度学生要覧を参照してください。

## カリキュラムの説明

日本語日文学科のカリキュラムは、日本語学・日本文学を柱として組み立てられています。日本語学は、日本語学と日本語教育学に、日本文学は上代文学・中古文学・中世文学・近世文学・近現代文学・漢文学に専門・細分化されます。その授業科目は、

- ・少人数の演習形式の科目
- ・専門を学んでいくための基礎力を養成する科目
- ・各専門分野の学問体系に沿った科目
- ・分野を横断した学習や実習によって視野を広げる科目

から構成されています。これらを段階的に（カリキュラムマップのレベル1から順に）履修することにより、日本語日文学に関する幅広い知識を得ながら、徐々に専門性を深めていくことができます。

学科専門科目のいくつかは、同時に教職課程（国語）や日本語教員養成講座の必修科目でもあります（学生要覧別冊の当該ページ参照）。

### ●4年間の履修の指針

【1年次】に履修が指定されている科目は選択必修Ⅰ群の「R&R（入門ゼミ）」と「日本語日文学基礎ゼミ」です。前期の「R&R」は Research & Report の略で、学術資料の調べ方やレジュメの書き方、発表のしかた、討論のしかたなど、大学ならではの研究方法を全員が身につけられるようトレーニングをします。このクラスの担当教員が、原則として2年次まで「アカデミック・アドバイザー（AA）」としてみなさん方に種々のアドバイスをいたします。後期の「日本語日文学基礎ゼミ」は、学科の各専門分野における研究の初歩を学ぶ科目で、前期の終わりに希望調査を行った上でクラス分けをします。これら2つの演習により、日本語日文学科で調査・研究発表をしていくための実践的な基礎力を身に付けます。

同時に、1,2年次には選択必修Ⅱ-A群の〈概論・文学史〉の講義科目を履修することによって、各専門分野の全体的知識を学びます。幅広く学ぶことが大切な時期です。

また、選択必修Ⅱ-B群〈日本語日文学の基礎〉の科目群は、専門分野の理解を助ける基礎的な知識をつけるためのものです。1,2年次のうちにできるだけ多くの科目を履修するようにしてください。なかでも「基礎論文演習（文章表現）」は、専門分野についてのレポートや卒業論文を書いていくために必ず必要となる技能を養成するための科目ですので、1年次の後期にクラス分けをして全員が履修します。

【2年次】選択必修Ⅱ-C群の「日本語日文学プレ専門ゼミ」は「基礎ゼミ」同様、前後期とも希望調査を行った上でクラス分けを行う演習科目で、週2回の授業により一気に実践力を高め、3年次の「専門ゼミ」につなげます。2年次以降は選択必修Ⅲ群の科目が多く履修できるようになります。講義内容や研究方法論の専門性が増し、調査・整理・分析・発表という主体的な受講が求められるものもあります。また、それらゼミに直結する専門的な科目の他に、日本文化に関する視野を広げる科目も開かれています。これらの科目を選択することで、専門についてもより深い探究、より広い展望を獲得できます。2年次の12月までには「ゼミ分け」が完了し、進むべき専門の分野が決まります。

## 卒業に必要な単位数

コミュニケーション学科では、以下の表の「科目区分」ごとの科目の単位を修得し、それぞれの「単位数」を満たすことが、卒業の条件です。

科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に掲載されています。

2024年度以降入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考		卒業要件算入 の上限単位数
全学共通	C L Aコア	キリスト教科目	2	「キリスト教概論」[2]	なし
		上記以外	4	「キリスト教学」[2]	
	語学 (履修コースによる)		①10	①スタンダード・コース選択者	32
			②16	②2か国語履修コース選択者	
	③22	③インテンシブ・コース選択者			
学科専門	選択必修	I	2	「R&R(入門ゼミ)」[1]、「基礎ゼミ」[1]	なし
		II	12		
		III	18	〈各分野概論、研究方法〉	なし
		IV	4		
卒業論文	6				
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学の履修 コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8
	他学科専門科目など	①64	他学科の開放科目のほか、共通科目、コミュニケーション学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの	なし	
		②58			
③52					
合計		124			

2019～2023年度入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考		卒業要件算入 の上限単位数
全学共通	C L Aコア	キリスト教科目	2	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 」[2]	なし
		上記以外	4	「キリスト教学 <sup>※2</sup> 、一神教概論 <sup>※3</sup> 、 フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> 」[2]	
	語学 (履修コースによる)		①10	①スタンダード・コース選択者	32
			②16	②2か国語履修コース選択者	
	③22	③インテンシブ・コース選択者			
学科専門	選択必修	I	2	「R&R(入門ゼミ)」[1]、「基礎ゼミ」[1]	なし
		II	12		
		III	18	〈各分野概論、研究方法〉	なし
		IV	4		
卒業論文	6				
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学の履修 コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8
	他学科専門科目など	①64	他学科の開放科目のほか、共通科目、コミュニケーション学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの	なし	
		②58			
③52					
合計		124			

- ※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」  
 ※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」  
 ※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」  
 ※4 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅳ」

#### 〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です (p.19「履修登録できる単位数の上限 (CAP 制)」参照)。
- ・外国人留学生は、この表にかかわらず、「日本語科目」及び「日本事情に関する科目」について必修科目が定められています (p.72「外国人留学生の履修」参照)。
- ・編入学者の「卒業に必要な単位数」は pp.110~111を参照してください。

#### 2017年度以前入学者

2019年度学生要覧を参照してください。

#### 2018年度入学者

2021年度学生要覧を参照してください。

## カリキュラムの説明

### コミュニケーション学科の目指すもの

コミュニケーション学科は、みなさん方が21世紀の多文化・共生時代を生きるため、多様化する社会や人間、文化などを総合的にとらえた上で、社会関係をスムーズにし、対人スキルを身につけ、豊かな表現能力が獲得できるよう、現状把握・調査・分析・理論、そして実習・実践などを重視する学科として2004年度に開設されました。

人は、動物とは異なり一人では生きてゆけず、「社会」を構成してしか生きられません。その際、人は「ことば」で思考し、書きことば・話しことば・しぐさ・音・画像などの記号を駆使し、情報の乗り物であるメディアという道具を用いて自己表現や他者とのコミュニケーションを行っています。その繁雑さと「個」というエゴのため、ときとして人間は他の動物よりもはるかに非合理的な争いを生じさせもし、身近なところでは誤解や「いじめ」、他者の人権や生命の侵害、グローバルにみれば差別や貧困、大量殺戮や戦争などの悲しくかつ憂慮すべき事態を繰り返してきました。人間がもっと賢くなり、「憎しみ」の連鎖を断ち切り、多様な人びとと平和的に暮らせるようになる世界を構築するためには、私たち全員がもっともって人間の心や社会のシステム、様々な文化、表現のしかたなどについて学び、むしろ「違い」を楽しむような実践が求められます。そのときのキーワードが「コミュニケーション」にほかなりません。

### カリキュラムの構成

本学のコミュニケーション学科は、以上のような問題意識の上に立って、カリキュラム構成に他大の同じような学科にはない数多くの特徴をそなえています。

まずカリキュラムの構造 (pp.100~101のカリキュラムマップ参照) ですが、(1) 入学したての大学生としてトレーニングを少人数のゼミで積む **基礎を学ぶ**、(2) コミュニケーション研究の入門編として **全体像を知る**、(3) 実証的研究方法編としての **研究方法に取り組む**、(4) 各論の基礎編である **コミュニケーションの基礎を学ぶ**、そして (5) 各論の専門科目である **多文化理解・共生コミュニケーション・表現とメディアの3領域**からなる **専門と出会う** が、階梯性をもって配置され、(1) **専門を深める** 科目として、2年次生全員が履修しなければならない、ゼミ風のコミュニケーション学探求も用意されています。また (6) コミュニケーション研究の解釈実践ともいえる **現代文化を読み解く** が加わり、最後に卒業論文・卒業制作に結実するゼミナールとしての **専門を深める** **専門を極める** ((1) 参照) でしめくられるよう組み立てられています。

カリキュラムのハイライトである (5) は、さらにそれぞれ **知と出会う** と **フィールドへ出る** とで構成されており、前者は主として現状や先行研究について理論的に学び、後者は主として学内外でのワークショップや実習によって実践的に学びます。

## 編入学生の卒業に必要な単位数

編入学生の卒業の条件は次のとおりです。学科、編入学年及び入学年度によってカリキュラム及び条件が異なりますので、自分が該当する1つの表だけを確認して下さい。科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に記載されています。

2年次編入学者	編入学後3年の間に以下の表に定める科目・単位を含む94単位を修得すること。
3年次編入学者	編入学後2年の間に以下の表に定める科目・単位を含む62単位を修得すること。

日本語日本文学科 2年次編入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	C L A コア	キリスト教科目	4	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教学 <sup>※2</sup> 、 <b>一神教概論<sup>※3</sup></b> フェリス女学院とキリスト教 <sup>※3</sup> 」[2]	なし
		上記以外	2		なし
	語学		6		32
学科専門	選択必修	I	—	合計 35 〈各分野概論〉 〈基礎科目群、「基礎論文演習」〉 「プレ専門ゼミ1～9」[2] 「専門ゼミ A, B」[1, 1]「卒論ゼミ A, B」[1, 1]	/
		II-A	12		なし
		II-B	3		なし
		II-C	2		4
		III	14		なし
IV	4				
	卒業論文		6		
その他	教職に関する科目 選択必修II-A		41	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8
	他学科専門科目など			他学科の開放科目のほか、共通科目、日本語日本文学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの	/
合計			94		

英語英米文学科 3年次編入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	C L A コア	キリスト教科目	4	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教学 <sup>※2</sup> 、 <b>一神教概論<sup>※3</sup></b> フェリス女学院とキリスト教 <sup>※3</sup> 」[2]	なし
		上記以外	—		なし
	語学		—		32
学科専門	選択必修	I	—	合計 35 〈高度な英語科目、「英米文化専門講読」〉 「専門ゼミ A, B」[1, 1]「卒論ゼミ A, B」[1, 1]	/
		II-A	—		なし
		II-B	6		なし
		III	—		なし
		IV	4		
	選択			「海外短期研修」	
	卒業論文		6		
その他	教職に関する科目 選択必修II-A		42	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8
	他学科専門科目など			他学科の開放科目のほか、共通科目、英語英米文学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの	/
合計			62		

日本語日本文学科 3年次編入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	CLAコア	キリスト教科目	4	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教学 <sup>※2</sup> 、 <b>一神教概論<sup>※3</sup></b> 」 フェリス女学院とキリスト教 <sup>※3</sup> 」[2]	なし
		上記以外	—		なし
	語学		—		32
学科専門	選択必修	I	—		
		II-A	4	〈各分野概論〉	なし
		II-B	—		なし
		II-C	—		なし
		III	8		なし
	IV	4	「専門ゼミ A, B」 [1, 1] 「卒論ゼミ A, B」 [1, 1]		
卒業論文		6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	36	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」  他学科の開放科目のほか、共通科目、日本語日本文学 科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得 したもの	8	
	他学科専門科目など				
合計		62			

コミュニケーション学科 3年次編入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	CLAコア	キリスト教科目	4	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教学 <sup>※2</sup> 、 <b>一神教概論<sup>※3</sup></b> 」 フェリス女学院とキリスト教 <sup>※3</sup> 」[2]	なし
		上記以外	—		なし
	語学		—		32
学科専門	選択必修	I	—		
		II	—		なし
		III	—		なし
		IV	4	「専門ゼミ I A、I B」 [1, 1] 「専門ゼミ II A、II B」 [1, 1]	4
	卒業論文		6		
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	48	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」  他学科の開放科目のほか、共通科目、コミュニケーション 学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に 修得したもの	8	
	他学科専門科目など				
合計		62			

## 〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です。(p.19「履修登録できる単位数の上限 (CAP 制)」参照)
- ・3年次編入学者のみ「キリスト教概論<sup>※1</sup>、キリスト教学<sup>※2</sup>、一神教概論<sup>※3</sup>、フェリス女学院とキリスト教<sup>※4</sup>」に代えて「キリスト教関連科目」を履修することが認められます。(p.52「キリスト教関連科目」参照)

※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」

※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」

※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」

※4 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅳ」



## 卒業に必要な単位数

国際交流学科では、以下の表の「科目区分」ごとの科目の単位を修得し、それぞれの「単位数」を満たすことが、卒業の条件です。

科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に掲載されています。

2024年度以降入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	CLAコア	キリスト教科目	2	「キリスト教概論」[2]	なし
			2	「キリスト教教学」[2]	
		上記以外	4		なし
	語学 (履修コースによる)		①10 ②16 ③22	①スタンダード・コース選択者 ②2か国語履修コース選択者 ③インテンシブ・コース選択者	32
学科専門	必修		10	「導入演習」[1]、「研究入門」[2]、「基礎演習」[3]、「専門演習」[4]	なし
	選択必修	基幹科目	6	合計で20単位以上 所属するプログラムの推奨科目最低6単位を含む合計20単位以上を修得	なし
		所属するプログラムの推奨科目			なし
		所属するプログラムの科目			なし
卒業論文		6		なし	
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学の履修コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8
	他学科専門科目など	①58 ②52 ③46		他学科の開放科目のほか、共通科目、国際交流学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの	なし
合計			124		

2019年度～2023年度入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	CLAコア	キリスト教科目	2	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 」[2]	なし
			2	「キリスト教教学 <sup>※2</sup> 、一神教概論 <sup>※3</sup> 、フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> 」[2]	
		上記以外	4		なし
	語学 (履修コースによる)		①10 ②16 ③22	①スタンダード・コース選択者 ②2か国語履修コース選択者 ③インテンシブ・コース選択者	32
学科専門	必修		10	「導入演習」[1]、「研究入門」[2]、「基礎演習」[3]、「専門演習」[4]	
	選択必修	基幹科目	6	合計で20単位以上	なし
		所属するプログラムの推奨科目			なし
		所属するプログラムの科目			なし
卒業論文		6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学の履修コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8
	他学科専門科目など		①58 ②52 ③46	他学科の開放科目のほか、共通科目、国際交流学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの	
合計			124		

- ※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」  
 ※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」  
 ※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」  
 ※4 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅳ」

#### 〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です (p.19「履修登録できる単位数の上限 (CAP 制)」参照)。
- ・「卒業論文」に代えて、国際交流学科専門科目6単位の履修が認められる場合があります。アカデミック・アドバイザーと相談のうえ、所定の手続きが必要です。(p.130「「卒業論文」又は「卒業論文」に代わる国際交流学科専門科目6単位の履修方法について」参照)
- ・「卒業論文」に代わる国際交流学科専門科目6単位の履修が認められた場合、卒業に必要な「専門演習」の単位が2単位となります。
- ・外国人留学生は、この表にかかわらず、「日本語科目」及び「日本事情に関する科目」について必修科目が定められています (p.72「外国人留学生の履修」参照)
- ・編入学者の「卒業に必要な単位数」は pp.122～123を参照してください。

#### 2016年度以前入学者

2019年度学生要覧を参照してください。

#### 2017・2018年度入学者

2021年度学生要覧を参照してください。

編入学者の卒業に必要な単位数

編入学者の卒業の条件は、次のとおりです。編入学年及び入学年度によってカリキュラム及び条件が異なりますので、自分が該当する1つの表だけを確認してください。

2年次編入学者	編入学後3年の間に以下の表に定める科目・単位を含む94単位を修得すること
3年次編入学者	編入学後2年の間に以下の表に定める科目・単位を含む62単位を修得すること

科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に記載されています。

2年次編入学者						
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数		
全学共通	CLAOコア	キリスト教科目	4	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教学 <sup>※2</sup> 、一神教概論 <sup>※3</sup> 、フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> 」[2]	なし	
		上記以外	2		なし	
	語学		6		32	
学科専門	基礎演習		2			
	選択必修	基幹科目	8		なし	
		所属するプログラムの推奨科目	6	合計で20単位以上	所属するプログラムの推奨科目最低6単位を含む合計20単位以上を修得	なし
						なし
	所属するプログラムの科目					
	専門演習		4			
卒業論文		6				
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	42	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8		
	他学科専門科目など		他学科の開放科目のほか、共通科目、国際交流学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの			
合計			94			

3年次編入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	CLAOコア	キリスト教科目	4	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教学 <sup>※2</sup> 、一神教概論 <sup>※3</sup> 、フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> 」[2]	なし
		上記以外	—		なし
	語学		—		32
学科専門	選択必修		—		なし
	専門演習		4		
	卒業論文		6		
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	48	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8	
	他学科専門科目など		他学科の開放科目のほか、共通科目、国際交流学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの		
合計			62		

〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です。(p.19「履修登録できる単位数の上限 (CAP 制)」参照)
- ・3年次編入学者のみ「キリスト教概論<sup>※1</sup>、キリスト教学<sup>※2</sup>、一神教概論<sup>※3</sup>、フェリス女学院とキリスト教<sup>※4</sup>」に代えて「キリスト教関連科目」を履修することが認められます。(p.52「キリスト教関連科目」参照)
- ・「卒業論文」に代えて、国際交流学科専門科目6単位の履修が認められる場合があります。アカデミック・アドバイザーと相談のうえ、所定の手続きが必要です。(p.130「「卒業論文」又は「卒業論文」に代わる国際交流学科専門科目6単位の履修方法について」参照)
- ・「卒業論文」に代わる国際交流学科専門科目6単位の履修が認められた場合、卒業に必要な「専門演習」の単位が2単位となります。

※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」

※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ, Ⅲ」

※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」

※4 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅳ」

## 卒業に必要な単位数

音楽芸術学科では、以下の表の「科目区分」ごとの科目の単位を修得し、それぞれの「単位数」を満たすことが、卒業の条件です。

科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に掲載されています。

2024年度以降入学者						
科目区分	科目群	単位数		「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	C L A コア	キリスト教 科目	2	「キリスト教概論」[2]	なし	
			2	「キリスト教概論」[2]		
		上記以外	4		なし	
	語学（履修コースによる）	①10 ②16 ③22		①スタンダード・コース選択者 ②2か国語履修コース選択者 ③インテンシブ・コース選択者	32	
学科専門	選択必修	1群	4	かつ 合計 38単位 以上	1群から4単位以上	なし
		2群	2		2群から2単位以上	なし
		3群	2		3群から2単位以上	なし
		4群	2		4群から2単位以上	なし
		5群	4		5群から4単位以上	なし
		6群	6		「基礎演習」[1]、「応用演習」[1]、専門ゼミⅠ～Ⅳを 各1単位、合計6単位	
	卒業プロジェクト		6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学履修コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8	
	他学科専門科目など	①62 ②56 ③50		他学科の開放科目のほか、共通科目、音楽芸術学科専門 科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの		
合計			124			

2019～2023年度入学者						
科目区分	科目群	単位数		「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	C L A コア	キリスト教 科目	2	「キリスト教概論 <sup>※1</sup> 」[2]	なし	
			2	「キリスト教概論 <sup>※2</sup> 」、 「キリスト教概論 <sup>※3</sup> 」、 「フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> 」[2]		
		上記以外	4		なし	
	語学（履修コースによる）	①10 ②16 ③22		①スタンダード・コース選択者 ②2か国語履修コース選択者 ③インテンシブ・コース選択者	32	
学科専門	選択必修	1群	4	かつ 合計 38単位 以上	1群から4単位以上	なし
		2群	2		2群から2単位以上	なし
		3群	2		3群から2単位以上	なし
		4群	2		4群から2単位以上	なし
		5群	4		5群から4単位以上	なし
		6群	6		「基礎演習」[1]、「応用演習」[1]、専門ゼミⅠ～Ⅳを 各1単位、合計6単位	
	卒業プロジェクト		6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A	語学履修コースによる：		「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8	
	他学科専門科目など	①62 ②56 ③50		他学科の開放科目のほか、共通科目、音楽芸術学科専門 科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの		
合計			124			

- ※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」  
 ※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」  
 ※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」  
 ※4 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅳ」

〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です（p.19「履修登録できる単位数の上限（CAP制）」参照）。
- ・外国人留学生は、この表にかかわらず、「日本語科目」及び「日本事情に関する科目」について必修科目が定められています（p.72「外国人留学生の履修」参照）
- ・編入学者の「卒業に必要な単位数」はp.137を参照してください。

2018年度以前入学者

2019年度学生要覧を参照してください。

編入学者の卒業に必要な単位数

編入学者の卒業の条件は、次のとおりです。編入学年及び入学年度によってカリキュラム及び条件が異なりますので、自分が該当する表を確認してください。

2年次編入学者	編入学後3年の間に以下の表に定める科目・単位を含む94単位を修得すること。
3年次編入学者	編入学後2年の間に以下の表に定める科目・単位を含む62単位を修得すること。

科目区分ごとの全ての科目は開講科目表に記載されています。

2年次編入学者						
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数		
全学共通	CLACOA	キリスト教科目	4	キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教 <sup>※2</sup> 、一神教概論 <sup>※3</sup> 、フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> [2]	なし	
		上記以外	2		なし	
	語学		6		32	
学科専門	選択必修	1群	2	かつ 合計 以上	1群から2単位以上	なし
		2群	2		2群から2単位以上	なし
		3群	2		3群から2単位以上	なし
		4群	2		4群から2単位以上	なし
		5群	4		5群から4単位以上	なし
		6群	5		「応用演習」[1]、専門ゼミⅠ～Ⅳを各1単位、合計5単位	
	卒業プロジェクト		6			
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A		41	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8	
	他学科専門科目など			他学科の開放科目のほか、共通科目、音楽芸術学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの		
合計			94			

3年次編入学者					
科目区分	科目群	単位数	「該当科目名」[単位数] その他備考	卒業要件算入 の上限単位数	
全学共通	CLACOA	キリスト教科目	4	キリスト教概論 <sup>※1</sup> 、キリスト教 <sup>※2</sup> 、一神教概論 <sup>※3</sup> 、フェリス女学院とキリスト教 <sup>※4</sup> [2]	なし
		上記以外	—		なし
	語学		—		32
学科専門	選択必修	1群	—	—	なし
		2群	—		なし
		3群	—		なし
		4群	—		なし
		5群	—		なし
		6群	4		「専門ゼミⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」[1]
	卒業プロジェクト		6		
その他	教職に関する科目 選択必修Ⅱ-A		48	「教育原理」、「教育思想」、「教育社会学」、「教育心理学」	8
	他学科専門科目など			他学科の開放科目のほか、共通科目、音楽芸術学科専門科目のうち、上記区分ごとの必要数以上に修得したもの	
合計			62		

#### 〈履修関連事項〉

- ・学期ごとの履修登録上限は24単位です。(p.19「履修登録できる単位数の上限 (CAP 制)」参照)
- ・3年次編入者のみ(「キリスト教概論<sup>※1</sup>、キリスト教学<sup>※2</sup>、一神教概論<sup>※3</sup>、フェリス女学院とキリスト教<sup>※4</sup>」に代えて「キリスト教関連科目」を履修することが認められます。(p.52「キリスト教関連科目」参照)

- ※1 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅰ」
- ※2 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ、Ⅲ」
- ※3 2023年度以前修得者は「キリスト教Ⅱ」
- ※4 2023年度以前修得者は「フェリス女学院と「キリスト教Ⅳ」

## カリキュラムの説明

### カリキュラムの構成及び特徴

音楽芸術学科は多様な分野に対応して2年次から学科特有の科目を多く準備しています。それらは3年次から始まる専門ゼミの準備科目として学生が選択できるようにもなっています。そしてカリキュラム全体は学修分野に応じて7つのグループ(群)に分かれています。

#### 第1群：音楽の基礎を学ぶ／ミュージシャンシップを養う

音楽を学ぶ上で不可欠な基礎理論・基礎実技を学びます。

#### 第2群：キリスト教音楽を体験する

本学建学の理念であるキリスト教についての理解を、音楽を通して深めます。

#### 第3群：ミュージシャンシップを高める

第1群で養った音楽性をさらにスキルアップ。音楽家としてより高度な実践と応用の技術を身に付けます。

#### 第4群：音楽の背景を探る

音楽の背景を、歴史・理論などの観点から深く学ぶための科目です。

#### 第5群：音楽と社会を実践的に体験する(アクティブ・ラーニング科目群)／社会実践コミュニケーション

キャリア設計を視野に入れた、現代的な内容の多彩な科目から構成されます。

#### 第6群：専門を深める一ゼミナールで社会とつながる

「基礎演習」から「応用演習」を経て「専門ゼミⅠ～Ⅳ」へとつながります。1, 2年次でアカデミック・スキルを修得し、3, 4年次はゼミに所属し専門を深めます。

また学外での活動に取り組むことを支援する科目も開講しています。

授業科目名	内 容	履修年次
「公開発表・公開演奏」	学内外における作品・論文・演奏の発表	【2019年度以降入学者】 2～4年次生

#### 第7群：専門を極める

卒業プロジェクトを仕上げます。卒業プロジェクトには「卒業論文」又は「卒業制作及び副論文」の2タイプがあります。どちらの形で発表することにしても、専門ゼミでの学びと運動して自分のプロジェクトを完成させていきます。

#### PA(パフォーミング・アーツ)科目群：高度な技能、表現力を修得する

学生一人ひとりのニーズに応じ、個人実技又はグループ実技(アンサンブル、教職実技、ミュージック・テクノロジー、身体表現など)を自由に選択することができます。なお、PA科目群の科目は、すべて別途実技料が発生します。

修了要件

本課程を修了するには、下記の(1)、(2)全てを満たす必要があります。

- (1) 在学期間  
2年以上在学すること。
- (2) 修得単位数等
- ① 「修士論文指導」を含む所定の授業科目を30単位以上修得すること。
  - ② 修士の学位申請論文（以下「修士論文」という。）の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りることとします（p.23参照）。

必修単位数については次のとおり定めます。

科目区分	単位数	備 考
選択必修Ⅰ群	4単位	
選択必修Ⅱ群	8単位	
選択必修Ⅲ群「修士論文指導」	4単位	
その他	14単位	上記以外の所属専攻専門科目及び上記区分ごとの必要数以上に修得した科目の単位
合 計	30単位	



## 修了要件

本課程を修了するには、下記の (1)、(2) 全てを満たす必要があります。

- (1) 在学期間  
大学院に5年以上<sup>\*1</sup>在学すること。  
※1 修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者については、その2年を含む。
- (2) 修得単位数等  
①「博士論文指導」を含む所定の授業科目を42単位<sup>\*2</sup>以上修得すること。  
②博士の学位申請論文の審査及び最終試験に合格すること。  
※2 修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者が、その課程と同種の専攻の博士後期課程に入学した場合は、その専攻の授業科目のうち30単位をすでに修得したものとみなします。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を上げた者については、大学院に3年（修士課程又は博士前期課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りることとします（p.23参照）。

また、必修単位数については次のとおり定めます。

### 2022年度以降入学者

科目区分	必修単位数
選択必修Ⅰ群	4単位
選択必修Ⅱ群	4単位
選択必修Ⅲ群 「博士論文指導」	4単位
合計	12単位

### 2021年度以前入学者

2021年度大学院要覧を参照してください。

## 履修方法

### 各専攻所定の授業科目の履修方法

選択必修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ群から履修することとします。詳細は開講科目表の履修方法欄を参照してください。各学期の履修科目については、履修登録までに指導教授の承認を得てください。

修了要件

本課程を修了するには、下記の(1)、(2)を満たす必要があります。

- (1) 在学期間  
2年以上在学すること。長期履修学生は4年以上在学すること。
- (2) 修得単位数等
- ① 「修士論文指導」または「修了レポート指導」を含む所定の授業科目を30単位以上修得すること。
  - ② 修士の学位申請論文(以下「修士論文」という。)または特定の課題についての研究の成果(「修了レポート」2編)の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りることとします(p.23参照)。(長期履修学生を除く。)

必修単位数については次のとおり定めます。

また、指導教授を変更した場合、変更前に修得した単位もグローバルゼーション研究演習に該当することとします。

2022年度以降入学者

「修士論文」選択者

	科目区分	単位数	備考
①	指導教授が担当する「研究総論」	2単位	
②	「ジェンダー」関連科目から	2単位	
③	指導教授の「グローバルゼーション研究演習」	4単位	
④	指導教授が担当する「修士論文指導」	4単位	
—	その他	18単位	上記以外の国際交流専攻専門科目及び上記区分ごとの必要数以上に修得した科目の単位
合計		30単位	

「修了レポート」選択者

	科目区分	単位数	備考
①	指導教授が担当する「研究総論」	2単位	
②	「ジェンダー」関連科目から	2単位	
③	指導教授が担当する「修了レポート指導」	4単位	
④	「自分史の書き方・時代の見方」	2単位	
⑤	指導教授の「グローバルゼーション研究演習」	2単位	
—	その他	18単位	上記以外の国際交流専攻専門科目及び上記区分ごとの必要数以上に修得した科目の単位
合計		30単位	

2021年度以前入学者

2021年度大学院要覧を参照してください。

修了要件

本課程を修了するには、下記の(1)、(2)全てを満たす必要があります。

- (1) 在学期間  
 大学院に5年以上<sup>※1</sup>在学すること。  
 ※1 修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者については、その2年を含む。
- (2) 修得単位数等  
 ① 「博士論文指導」を含む所定の授業科目を42単位<sup>※2</sup>以上修得すること。  
 ② 博士の学位申請論文の審査及び最終試験に合格すること。  
 ※2 修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者が、当該課程と同種の専攻の博士後期課程に入学した場合は、その専攻の授業科目のうち30単位をすでに修得したものとみなします。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を上げた者については、大学院に3年（修士課程又は博士前期課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りることとします（p.23参照）。

また、(2)については次のとおり定めます。

2022年度以降入学者

科目区分	必修単位数	備考
「特別研究」科目	4単位	履修する群と科目は指導教授の指示を受けてください。
指導教授の「グローバルゼーション研究特別演習」	4単位	
指導教授又は指導教員が担当する「博士論文指導」	4単位	
合計	12単位	

2021年度以前入学者

2021年度大学院要覧を参照してください。

## 音楽研究科 修士課程

### 修了要件

本課程を修了するには、下記の (1)、(2) 全てを満たす必要があります。

- (1) 在学期間  
2年以上在学すること。
- (2) 修得単位数等
  - ① 「修士研究指導」を含む所定の授業科目を30単位以上修得すること。
  - ② 修士研究（修士制作及び修士副論文、又は修士論文）を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りることとします（p.23参照）。

必修単位数については次のとおり定めます。

### 音楽芸術専攻

科目区分	単位数	備考
選択必修Ⅰ群	4単位	
選択必修Ⅱ群	4単位	
選択必修Ⅲ群 「修士研究指導」	4単位	
その他	18単位	上記以外の音楽芸術専攻専門科目、他専攻の開放科目及び上記区分ごとの必要数以上に修得した科目の単位 ※ 「実技レッスンA,B」「特別実技レッスンA,B」の修了要件算入は、あわせて6単位を上限とする。
合計	30単位	